

# シルバーだより <sup>1986</sup> **6** <sub>NO.16</sub>



◆発行 社団法人 **シルバー人材センター**  
**所沢市高齢者事業団**  
 所沢市西新井町20-1 ☎0429(95)0095

## 昭和61年度定期総会開かれる

—— 昭和61年5月22日 文化会館大展示室 ——



昭和61年度定期総会が文化会館に会員111名が参加して盛大に開催され昭和60年度事業報告、収支計算報告、昭和61年度事業計画(案)、収支予算(案)などが原案として提出され、いずれも原案どおり承認されました。又本年度は任期満了にとも

なう役員改選があり、次の方々が選ばれました。

理事長	増村 敏雄	理事	西村 晃治
副理事長	大河原 正一	"	田畑 作二
"	稲葉 猛夫	"	鈴木 望夫
専務理事	大野 敬司	"	坂元 敬昂
理事	中島 三木三	"	石田 道男
"	山本 綾子	"	藤本 明
"	高橋 義雄	監事	中村 吉明
"	斉藤 譲	"	大谷 信子

この30  
は61年  
の総会  
6/23

20703

総会は増村理事長のあいさつにつづき、市長の代理として出席された長谷川福祉部長の「事業団の益々の発展を」の旨のあいさつがあり、つづいて木下議長も「高齢化社会を迎え事業団の果たす役割は大きい。過去の経験を生かして頑張ってもらいたい」とあいさつをされた。

本年度の事業計画では「高齢者等の雇用の安定等に関する法律が施行され、事業団としても画期的な年である」との趣旨のもと、次のような事を行うことになりました。

- 1) 高年齢者の就業機会の開拓に努力する。
- 2) 高年齢者の就業に関する知識・技能の向上をはかる。
- 3) 高年齢者の就業に関する周知活動を推進する。
- 4) 臨時的かつ短期的な雇用による就業を希望する高年齢者のための無料の職業紹介を行う。

以上のような方針が示された。さらに事業団の功労者として、退任された粕谷忠平監事、新井与志一理事に対し理事長より感謝状及び記念品が贈られ、盛会のうちに総会を終了しました。

## 市営テニスコートの風景

新所沢地区 野田 友次郎

炎天下のテニスコートの昼下り、勤務していた熟齡の管理人が云いました。

『そのA面コートでプレイしている、若い男性のお客さん！ コートでの裸は禁止されていますよ！』

B面コートでプレイしていた若い女性が云いました。

『あら！ おじいさん！ そう……それじゃ女性の裸はどうなの！』と尋ねました。

熟齡の管理人は、

『それなら例外じゃ……』とびっくりして、一目さんにコートから管理室へ逃げ帰りました。



# 国庫補助金について

専務理事 大野 敬 司

会員のみなさんが多く望んでおりました「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が昭和61年4月1日施行、10月1日から適用となり、内容が次のように改正されることになりました。

## 1. シルバー人材センター補助

全国290団体（新設30含む）

3,547.55万円 前年度比82%増

### ○単位団体ランク別補助基準

A 1,020万円が1,590万円に増額される

B 840万円が1,330万円に //

C 750万円が1,220万円に //

D 670万円が1,130万円に //

（注）ランクは規模と実績により異なり  
所沢はBランク

## 2. 補助対象団体の基準が変わる

人口基準が撤廃(10万人以上)されました。

会員数150人以上で年間就業人員が6,000

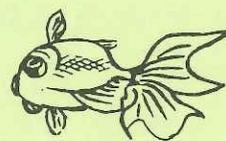
以上（年間）あれば認可される。

## 3. 仮称高齢者就業機関開発事業(新規)

○市町村が高齢者を短期的就業に適した仕事と内容とする。事業をシルバー人材センターに委託した場合に、その委託した額の $\frac{1}{3}$ を市町村に補助する。

○その他全協への補助についても大幅に増額される。

さてこの国の方針に対し、私達会員がいかに対処するかということです。今回は財政難にもかかわらず、シルバーに対し補助金を大幅に増額されたことは、これからの高齢化社会の担い手としてのシルバー人材センターが再認識されたものであり、画期的なものであります。



## 役員・地区委員・職員合同視察研修について

去る2月18・19日、宇都宮市シルバー人材センターへ役員・地区委員・職員16名が視察研修を行いました。参加者がその寸評を寄せて参りました。

※ 初めての研修は有意義で、大いに参考になりました。研修は今後も必要。

（新所沢東地区 山 川 茂）

※ 宇都宮市事業団の活動内容を伺い、所沢市事業団では少人数ですべての業務を立派に遂行していることを深く感じた。

（理 事 山 本 綾 子）

※視察研修により事業団の事業内容を再認識しました。

（旧町地区 森 田 卯 助）

※ 宇都宮市事業団と地域の相違があったとはいえ参考になった。又、役員・委員・職員の相互の親睦ができ、有意義であった。

（富岡地区 伊 藤 義 雄）

※ 今回のような合同研修会が催されたことは有意義であった。

(理事 大河原 正一)

※ 宇都宮・所沢両事業団の在り方を比較して、それぞれの立場において大いに参考になった。

参加者の相互のコミュニケーションの機会となった。今後更に飛躍のステップ台になることを期待したい。

(松井地区 村 越 順四郎)

※ 会員のための共同作業所を設け、軽作業や手工芸品等を製作かつ販売し、趣味と実益が得られるだろう。

(監事 粕谷 忠平)

※ 井の中の蛙がはじめてまわりを眺めたという感じ。

(吾妻地区 村 本 健次郎)

※ 他の事業団を視察しよい勉強になり、相互の親睦を深めることができた。

(三ヶ島地区 太刀川 武三郎)

### 昭和60年度事業実績

区分 月別	仕事の 託数 件	就 業 人 員		契 約 額			
		実人員	延人員	配 分 金	事 務 費	材 料 費	計
4	120	200	3,499	11,452,331 <sup>円</sup>	621,784 <sup>円</sup>	273,960 <sup>円</sup>	12,348,075 <sup>円</sup>
5	148	211	3,565	12,011,509	633,612	329,616	12,974,737
6	122	206	3,189	11,801,026	765,499	305,340	12,871,865
7	169	211	3,866	12,988,164	711,844	126,900	13,826,908
8	146	202	3,626	11,961,526	664,684	157,540	12,783,750
9	172	208	3,514	12,194,179	709,528	528,260	13,431,967
10	203	218	4,054	13,664,077	780,872	281,525	14,726,474
11	181	195	3,439	11,742,284	667,483	194,085	12,603,852
12	187	192	3,430	11,777,673	648,585	166,196	12,592,454
1	119	186	2,845	9,144,147	585,940	391,985	10,022,072
2	104	184	2,929	9,080,054	469,799	72,350	9,622,203
3	106	186	3,118	9,779,836	499,708	1,274,521	11,554,065
計	1,777	2,399	41,074	137,596,806	7,659,338	4,102,278	149,358,422
月 平 均							
	148 <sup>件</sup>	200 <sup>人</sup>	3,423 <sup>人</sup>	11,466,400 <sup>円</sup>	638,278 <sup>円</sup>	341,857 <sup>円</sup>	12,446,535 <sup>円</sup>

おかげ様で59年度実績より16,952,910円上回ることができました。

◆職員の異動◆ 退職/翠川 久・徳原正勝 新入職員/関口武司・中 章子



### 編集 後記

このシルバーだよりが皆さんの手元に届く頃には梅雨の季節となると思いますが、健康に充分注意して頑張ってください。

尚、紙面の関係で栗原さん、内野さんの原稿と野田さんの俳句は次回にさせていただきます。